

取引先が思い描くイメージを形に。 金型製作でものづくりに貢献



マシニングセンタ

事業名

超小型加工機と高能率加工を組み合わせた 高効率・高精度金型製作方法の確立



金型製作の専門性を 設計業務に活かす

当社はプラモデルや玩具をはじめ事務機器、文房具、AV機器、自動車部品など幅広い分野でプラスチック金型の設計・製作を行っています。

中でもプラモデルや玩具などのホビー分野で長い実績があり、金型製作だけでなく製品の設計から依頼を受けるケースが増えています。設計込みで受注できる下請けの金型メーカーは数少なく、設計内容に金型メーカーの専門性を活かせることが取引先から評価され、金型製作のみの受注に比べて収益性の高い事業に結び付いています。

しかしながら受注競争力はあっても、既存のマシニングセンタの加工能力不足

から、近年は取引先のニーズ（短納期、受注型数の増加等）への対応が難しくなっていました。同時に、マシニングセンタを動かす加工データの作成効率と品質の向上が課題でした。

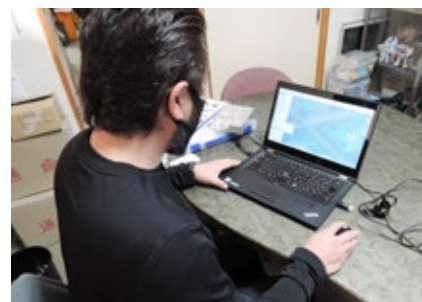
加工能力の増強で 受注量が拡大

そこで本事業において、高精度・高効率なマシニングセンタと、高能率な加工データを効率よく作成する環境を構築するために最新のCAMソフトウェアを導入し、金型製作の効率を上げ、受注量の拡大を図りました。

既存のマシニングセンタは2台あり、1台は汎用性の高い大型機で、もう1台は中型機です。工場スペースが限られてい

ることから、新機種への更新を選択した場合、加工能力の増強分は旧機種と新機種の能力の差分のみになってしまいます。

結果として導入効果が限定的になってしまうことから、更新ではなく小型機を1台増設し、3台体制にして加工能力の増強を図りました。増強後は加工能力が1.5倍にアップし、受注量を約25%増やすことができました。



CAMソフトウェアを使用して加工データを作成する岡村社長

一方のCAMソフトウェアについては、これまで仕上りの良さを求めて作成したデータは加工時間が長くなって効率が悪く、逆に効率を重視して作成すると仕上りが悪くなってしまうという問題がありました。

新たに導入したCAMソフトウェアは、これまで非効率になりがちだった部分を補うアルゴリズム（計算方法）を使用することで、効率よく加工データを作成できるようになりました。



プラスチック製品量産サービスのチラシ

小規模メーカーの オーダーにも対応

加工機とソフトウェアを増強したことで金型製作のキャパシティが向上し、受注量を増やすことができました。将来的にマシニングセンタをもう1台増やすことになった場合でも、小型機であれば追加導入できる工場スペースを確保しています。

メインの取引先であるホビー業界への営業強化はもちろんですが、もう一つの柱として小規模メーカーへの対応にも力



これまでに手がけた製品の一部

を入れていきたいと考えています。

最近特に、一人メーカーやインディーズメーカーといわれる、個人で活動するクリエイターやデザイナーからの依頼が増えているからです。

プラスチック製品の金型を特注で製作し、量産するサービスで、設計から提案できるのが当社の強みです。その用途はオリジナル商品、記念品、販促品など多岐に亘ります。小さなニーズにも耳を傾け、ものづくりを支えていきたいと思っています。

mono
hojyo

本事業における気づきと学び



有限会社 コーチ精機 代表取締役 岡村 良昭

本事業に取り組むにあたり、数字的な部分も含めて会社を客観視した結果、自社分析につながったことは大きな収穫でした。

申請書等をまとめるにあたっては、審査する方々の理解を促すために、できるだけ専門用語は使わず、わかりやすく伝えることに重きを置きました。

また、遠慮せずに積極的かつ自信を持って、本事業に取り組む意気込みを表現することが大切だと思いました。



有限会社 コーチ精機



〒321-0216
栃木県下都賀郡壬生町壬生丁175-5
TEL : 0282-82-6944
FAX : 0282-82-6963
URL : <http://kochiseiki.jp/>
E-mail : info@kochiseiki.jp

【代表者名】 岡村良昭
【設立年】 1992年4月
【資本金額】 300万円
【従業員数】 6名
【事業内容】
プラスチック金型の設計・製作、各種プラスチック製品の設計・製作、独自形式小形汎用金型による生産支援